

生ごみ分別の状況

環境課・クリーンセンター

1－1 生ごみ収集量

収集実績

単位：トン

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均
生ごみ	108	119	118	121	130	117	119
燃やすごみ	135	131	144	133	148	152	140
計	243	250	262	254	278	269	259

※制度設計における月平均：生ごみ約125トン、燃やすごみ約190トン

1－2 燃やすごみの収集量比較

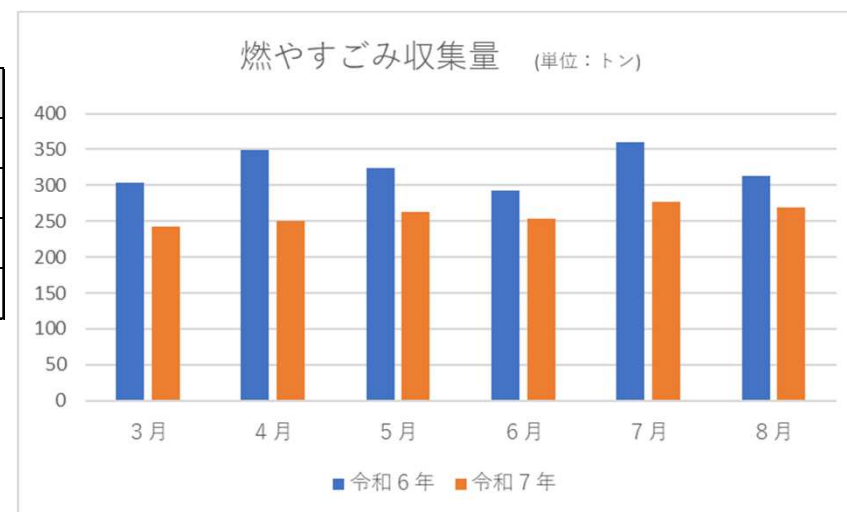
(1) 収集実績

単位：トン

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均
令和6年	303	350	325	293	360	313	324
令和7年	243	250	262	254	278	269	259
増減	▲60	▲99	▲62	▲39	▲82	▲44	▲64
増減率	▲20	▲28	▲19	▲13	▲23	▲14	▲20

※令和7年は、生ごみ＋燃やすごみ

前年同月比で約20%の減量



(2) 処理実績

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
数量(トン)	5,532	5,328	4,826

1－3 その他の処理量及び自家処理の動向

(1) 容器包装プラスチック処理量及び集団資源回収の推移（各年4月～8月）



(2) 自家処理〔キエーロ、電動生ごみ処理機等の補助〕



1 - 4 生ごみ・燃やすごみの組成分析調査

四半期毎、年4回実施、速報

(1) 調査日：6月23日（月）、26日（木）
対象地区：長柄

(2) 調査日：7月29日（火）、8月1日（金）
対象地区：一色

【100kg換算値】

（単位：kg）

分類	生ごみの日	燃やすごみの日
①生ごみ	78.65	10.02
②生ごみでも可燃ごみでもどちらでも排出可能なもの	12.87	0.27
③燃やすごみ	1.69	82.45
④その他	1.62	6.13
⑤排出袋	5.19	1.13
⑥合計	100	100

【100kg換算値】

（単位：kg）

分類	生ごみの日	燃やすごみの日
①生ごみ	79.47	8.49
②生ごみでも可燃ごみでもどちらでも排出可能なもの	11.29	1.27
③燃やすごみ	2.88	79.12
④その他	1.65	8.74
⑤排出袋	4.72	2.38
⑥合計	100	100

端数の丸めの関係で合計が100にならない場合があります。

2－1 生ごみ処理経過

(1) 分別開始当初【令和 7 年 3 月～】

- 3 月 3 日収集分から 7 月 4 日収集分までは、委託により民間資源化処理施設〔J バイオフードリサイクル(株)（横浜市鶴見区）〕においてバイオガス化及び肥料化処理。

(2) 本稼働【令和 7 年 7 月 7 日～】

- 生ごみ資源化処理施設において、堆肥化処理。

2 - 2 Jバイオフードリサイクル(株)による資源化

(1) 資源化量と処理費及び運搬費

月	3月	4月	5月	6月	7月	計
数 量 (kg)	95,090	114,430	53,760	91,570	30,770	385,620
処理費 (円)	3,660,965	4,405,555	2,069,760	3,525,445	1,184,645	14,846,370
運搬費 (円)	665,280	951,600	447,068	761,496	255,883	3,081,327

(2) 生ごみの資源化による肥料（はまのみのり）の配布

- ① 配布時期：令和7年6月～8月
- ② 配布先：野菜の会会員【一色：3名、上山口：2名、木古庭：1名】
- ③ 配布重量：計570kg
- ④ 使用感：全体的に混ぜて使用した。特に悪いと感じたところは無いが良いかは分からなかった。
水分が多く混ぜづらいが作物の育ちは例年通りだった。

2－3 クリーンセンターによる資源化

(1) 資源化量

月	7月	8月
数 量 (kg)	110,800	117,400

(2) 堆肥量

月	7月	8月
理論値数量 (kg)	5,540	5,870
実績数量 (kg)	—	—

(3) 排出袋

月	7月	8月
数 量 (kg)	9,080	10,630

3 生ごみ堆肥の配布

- (1) 名 称：葉山エシカル堆肥
- (2) 配布開始：令和7年11月29日（土）
- (3) 配布場所：クリーンセンター
- (4) 以降の予定：未定